



みんなの手で住みよいまちづくり



こころ豊かな

コミュニティづくり

行事やお知らせはコミュニティ放送で



郷土の歴史についての学習会も

住みよい地域社会を自分たちの手で創ろう——と広見地区では、地区民が一体となって、コミュニティ（近隣社会）づくりをすすめています。

広見地区は、昭和53、54年の2年間、県からコミュニティ活動推進のモデル地区として指定されました。

この間、コミュニティセンターの設置、広見コミュニティ放送の開局、地域団体の組織の見直しなどが計られ、県下のモデル地区として活動してきました。

今年度は、地区社会教育推進会や連合町内会などの組織を一体化した、広見コミュニティ推進会が、11部門に分かれコミュニティ活動をすすめています。

“コミュニティ活動、すなわち住民自治活動を積極的にすすめている、広見地区を今回はご紹介します。



敬老会に参加した孫の演技に思わずにっこり



「おじいちゃん、おばあちゃんいつまでも元気でいてね」と広見小の生徒

西部浄化センターで1日所長

下水道促進デーの9月10日、田子浦地区婦人会長 志村ため子さんと富士南地区婦人会長 大石米子さんが、西部浄化センターの1日所長、副所長に任命されました。

志村さんと大石さんは、渡辺市長から辞令交付されたあと、同センター職員に「安全対策に意を用いていただき、労働災害を起さないように……」と訓示、その後施設の巡視などを行いました。



渡辺市長から辞令を受ける大石さん